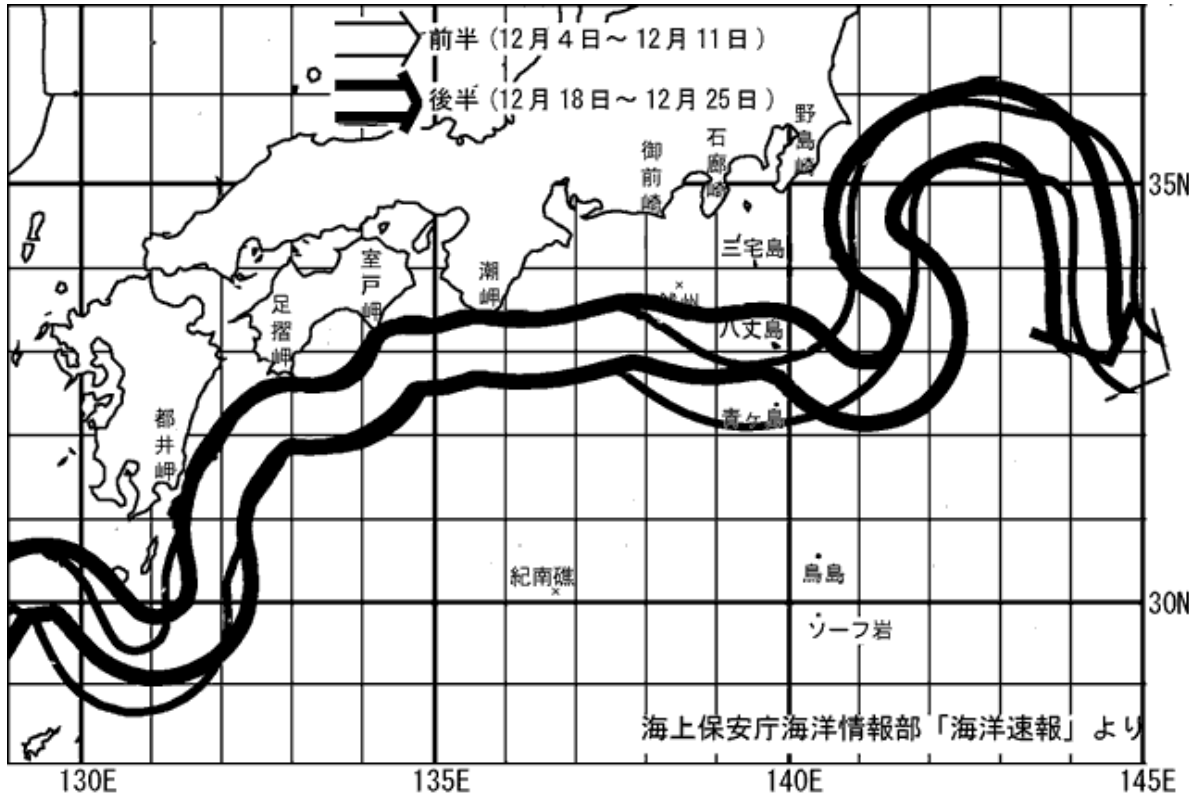


漁海況月報

平成19年12月1日

No. 12 ~12月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	17.7	18.6	17.8	17.6	17.4	18.0	14.4
	0.3	0.6	0.5	-0.4	-0.2	1.2	-1.3
中旬	16.7	17.3	16.8	16.3	16.6	16.7	13.6
	0.1	0.2	0.4	-0.6	0.0	0.7	-1.0
下旬	15.5	16.3	15.7	15.6	15.4	15.5	12.4
	-0.1	0.0	0.0	-0.3	-0.3	0.6	-1.4
月	16.6	17.4	16.8	16.5	16.6	16.7	13.4
	0.1	0.3	0.3	-0.4	0.0	0.8	-1.2

[黒潮流路]

月前半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸し、潮岬から 33° N 付近を東進した。その後、御前崎沖から南東に流れ相模灘沖 32° 30' N 付近まで離岸した後、八丈島の南を通り 141° E 付近を北上した。

月後半の黒潮は、都井岬南の小蛇行が前半に比べやや東進したが九州東岸から潮岬にかけて接岸し、潮岬から 33° N 付近を東進した。その後、八丈島付近から南東に流れ伊豆諸島東で 32° 30' N 付近まで離岸した後、141° 30' 付近をS字状に北上した。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾では 15~19°C 台、駿河湾東部では 14~18°C、駿河湾西部では 12~18°C 台で経過した。

月を通じて黒潮からの暖水波及はなく、各地ともやや低めからやや高めの水温で経過した。

[竿釣近海カツオ]

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚はなかった。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
19年12月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
19年12月計	0	0	-	-
18年12月計	0	0	-	-
17年12月計	1	2	0.6	327

[定置網]

平成19年12月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は134トンド、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量19.1トンは前年18.2トン(7漁場)の105%、平年値(昭和57~平成18年)33.9トンの56%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類53.8トン(A:前年同月比328%、B:平年同月比152%)②マルソウダ20.5トン(A:184%、B:273%)③スルメイカ17.4トン(A:58%、B:76%)④ウルメイワシ7.1トン(A:前年432%、B:322%)⑤マアジ6.3トン(A:81%、B:86%)の順であった。

サバ類はゴマサバ中心で、北川、川奈、伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは29cmにみられた。マルソウダは北川を中心に入網し、尾叉長のモードは27~28cmにみられた。スルメイカは北川、川奈を中心に入網し、外套背長のモードは24cmであった。ウルメイワシは昭和57年以降で2番目に多く水揚げされ、古網、伊豆山を中心に入網し、尾叉長は測定できなかった。マアジは谷津を中心に入網し、尾叉長のモードは18cmであった。

漁場別水揚量は、北川54トン(サバ類、マルソウダ、スルメイカ中心)、川奈26トン(サバ類、スルメイカ中心)、古網20トン(ウルメイワシ、サバ類中心)の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

棒受網によって小川港に水揚げされたゴマサバは 250 トンで、前月の水揚量 (660 トン) を大きく下回った。漁場は三宅周辺海域に形成された。水揚げされたゴマサバは尾叉長 26・27cm にモードをもつ 30cm 未満の大きさのものを主体に、30cm 以上の大きさのものが多く、3 割程度混じった。ゴマサバの 1kg 当たりの平均単価は 95 円で、前月 (80 円/kg) および前年同月 (41 円/kg) を上回った。

小川港 サバ類 (たもすくい・棒受網漁業) 水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成19年 上旬	28	1	2	13.8	三宅
12月 中旬	223	3	6	37.1	三宅
下旬	0	0	0	—	—
計	250	4	8	31.3	-----
平成18年12月	1,072	12	36	29.8	三本、三宅
平成17年12月	86	2	4	21.5	三宅

水揚量については、各旬で四捨五入しているため計と一致しない。

【サクラエビ船曳網】

12 月の出漁日数は 5 日で、漁獲量は 287 トン、漁場は主に焼津～大井川沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長 34mm にモードを持つ当歳エビと 41～42mm にモードを持つ 1 歳エビで構成された。

平成 19 年秋漁は 12 月 21 日が最終出漁日となり、出漁日数は 13 日 (前年秋漁は 14 日)、漁獲量は 551 トン (同 491 トン) であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1 日 1 か統当り (kg)	漁 場
平成19年 上旬	88	2	平均 731	焼津～大井川沖
12月 中旬	120	2	平均 1,003	焼津～大井川沖
下旬	78	1	平均 1,307	焼津～大井川沖
平成19年12月 計	287	5	平均 955	—
平成18年12月 計	255	7	平均 606	三保～焼津沖
平成17年12月 計	180	5	平均 601	三保～焼津沖

【シラス船曳網】

1 日 1 か統当りの漁獲量は、駿河湾では 32kg、遠州灘では 97kg、主要 6 港平均では 71kg で、前年同期 (78kg) の 91%、平年同期 (過去 5 年平均 : 94kg) の 76% と、前年及び平年を下回った。総水揚量は 25.2 トンで、前年同期 (80.4 トン) および平年同期 (80.7 トン) の 31% であった。平均単価は 1,125 円/kg で平年同期 (1,129 円/kg) 並みであった。

シラス水揚量 (主要 6 港)

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	2.4	4	18	131	731
舞 阪	9.3	8	72	129	821
福 田	6.3	5	73	86	919
御前崎	2.8	6	50	55	1,235
吉 田	1.2	7	30	39	1,184
静 岡	3.3	6	112	30	2,533
平成19年12月計	25.2	36	355	71	1,125
平成18年12月計	80.4	65	1,033	78	1,144
平成17年12月計	44.5	44	522	85	1,018

【まき網】

小川港ではマイワシの水揚げが 21.8 トンと、平年同期 (42.0 トン) を下回ったものの、この時期としては 3 年ぶりにまとまった水揚げとなった。沼津港でもマイワシが 69.4 トンと平年同期 (46.0 トン) を上回る水揚げがあった。カタクチワシの水揚げは、小川、沼津ともになかった。一方、静浦港ではマイワシ、カタクチワシともに水揚げはなかった。

注) 平年同期 : 過去 5 年 (2002～2006 年) 平均

【調査船の動向】

富 士 丸

11月5日 ～ 12月6日 第4次南方カツオ航海調査 (31日間)
(11月6日は除く)

駿 河 丸

12月5日 ～ 12月5日 地先定線観測 (駿河湾) (1日間)
 12月6日 ～ 12月7日 地先定線観測 (遠州灘、伊豆沖) (2日間)
 12月10日 ～ 12月10日 公共用水域水質検査 (駿河湾) (1日間)
 12月12日 ～ 12月13日 サクラエビ IKMT 調査 (駿河湾) (2日間)
 12月17日 ～ 12月17日 地先定線観測 (駿河湾) (1日間)
 12月19日 ～ 12月20日 地先定線観測 (駿河湾沖) (2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA による海面の水温分布画像を見ることができます。

